

縮小社会への道 オンライン茶話会 第9回

縮小社会において、地方の自立、食料自給率の向上などが必要である。しかし、農業を取り巻く状況は、高齢化、低所得など前途多難である。農家のみならず、農村までも崩壊しようとしている。前回(2020.11.9)には、有機農業にポイントをおいて議論しました。今回は農家、農村について議論します。

「農業の現状と将来、地域社会の崩壊」

日時：12月7日 19:30～21:00

zoom: <https://us02web.zoom.us/j/84507614890?pwd=RnB5MmFmRzNEN1BsbDJYSWJPTUJ5dz09>

ミーティング ID: 845 0761 4890

パスコード: 818465

【話題提供】

『有機農業が日本も世界も救う』 長谷川浩（母なる地球を守ろう研究所・理事長、縮小社会研究会・理事）
地球規模では気候崩壊、生物大量絶滅、国内では農村の崩壊、体も心も不健康な子供達、問題山積の現状です。個々の問題をもぐら叩きするのではなく、社会経済は縮小、有機農業 100%で根っこから課題解決を図ります。

『村再生の希望はどこにあるのだろうか。』 長谷川義仁（善通寺市市議会議員、オーガニックセンター「虹の邑ポパイくん」代表）

農業は潰れてはいませんが、村は崩壊寸前です。私の住んでいる所（香川県の中讃地域）の実態を報告して、村再生の方途を探ってみたい。一部に大規模の農家（企業）も生まれています。が、安定しているわけではない。

『農業と地域社会』 大前宏一（人生二毛作農業従事者）

現在、農業と地域社会を支えているのは、年配者ばかりである。農業者としての根が枯れてしまった人たちもいる。「多面的機能支払い」や「集落営農」等の国の政策は、うまく機能していない。この現状を述べることを通して、私なりの方策や展望らしきものを述べたい。

連絡先 松久寛 E-mail: h.matsuhisa@shukusho.org

会員でない方の参加歓迎：非会員で参加される場合は事前に松久まで氏名、所属をお知らせ願います。

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: jimukyoku@shukusho.org HP: <http://shukusho.org/>